



1 整然とした工場内。商品の生産を秒単位でコンピューター管理することで、その品質を保ち、安定した供給を実現 2 本社社屋。本社と不燃パネル「KAGOSU」の看板が目玉 3 同社が制作協力した内装デザインパネル 4 大理石がデザインされた特注シートを貼った同社制作のテーブル。大手の一流ホテルで採用。右が坂井社長



株式会社モノリス

「顧客の要望をとことん聞きながら
信頼と満足のいく商品を提供」

今回紹介する企業は、建築資材の製造や販売、さまざまな素材への特注加工などを行う株式会社モノリスです。

社長の坂井豊さん（49歳）は地元柳川で育ち、学校卒業後、関東にあるコンピューター関連の会社に就職します。しかし、地元柳川で起業したいと、父親が以前経営していた工場を借りて平成10年にモノリスを創業。最初はベトナムなどの部材づくりから始めたそうですが、その

【企業情報】

- 本社所在地=久々原 496
- ☎ 73・1330
- 資本金 = 6000万円
- 代表取締役 = 坂井豊
- 従業員 = 18人



後、システムキッチンの扉やドアなどの建築資材づくりに着手。現在では、建物だけでなく、クルーズ客船の内装、照明メーカーの部材づくりなど幅広い分野で仕事を行っています。また、汚れや擦り傷に強く、壁やトイレの仕上げ材、台所の内装などに使えるKAGOSU不燃パネルを開発。建築資材として売り上げを伸ばしています。

同社の特徴は、顧客の要望をとことん聞きながら、一緒に商品づくりを行うこと。そのためオーダーメイドになる仕事も多いとか。自動車メーカーからの要望を図面に起こし、車両の内装に使う部品を5年かけて完成させたこともあるそうです。また、内装パネルの会社と共同して、デザインされた凹凸のある表面に金属や布を同社の技術で貼り付け、独特の「和」を演出することに成功（写真3）。

一流企業の社屋やホテル、レストランなどの店舗内装に採用され、注目を集めています。

「小さな糸をつないで少しずつ肉付けし、やっとスターラインに立てた感じですよ」と起業から20年を振り返る坂井社長。「お客様が困っていれば、何とかしてあげたいと燃えるんですよ。より良い商品を作るチャンスでもありませんから」。丁寧な仕事ぶりが口コミで広がり、全国のさまざまな業種から仕事の依頼が舞い込んでいます。

●社長のひとこと

お客様と地域の皆様へ感謝し、焦らず、着実に一歩一歩しっかりやっていく。その先に未来があると思います。職員一同、一枚岩のように、夢を持ち楽しみながら仕事に励んでいきます。

【問】市商工・ブランド振興課 商工・企業誘致推進係 ☎ 77・8762